

薬効	一般名	商品名		採用状況
レボドパ製剤(DCI合剤)	レボドパ	ドパストン静注25mg	注射液	採用
	レボドパ・カルピドパ(10:1)配合	カルコーパ配合L100錠(メネシット配合錠)	レボドパ100mg カルピドパ10mg	採用
	レボドパ・ベンセラジド(4:1)配合	イーシー・ドパール錠	レボドパ100mg ベンセラジド25mg	限定
	レボドパ・カルピドパ水和物・エンタカポン配合	スタレポL100(メネシット/コムタン配合錠)	レボドパ100mg カルピドパ10mg エンタカポン100mg	院外限定
	空腸投与用 レボドパ・カルピドパ水和物配合	デュオドーパ配合経腸用液	レボドパ2000mg カルピドパ500mg	院外限定
MAO-B阻害薬	セレギリン	エフピー錠	2.5mg	院外限定
	ラサギリン	アジレクト錠	0.5mg	限定 (リハビリ目的入院時は継続)
	サフィナミド	エクフィナ錠	50mg	試用 (リハビリ目的入院時は継続)
COMT阻害薬	エンタカポン	エンタカポン錠(コムタン)	100mg	採用
	オピカポン	オンジェンティス錠	25mg	院外採用
ドパミン受容体作動薬	プロモクリプチン(麦角)	プロモクリプチン錠	2.5mg	外来・婦人科
	カベルゴリン(麦角)	カベルゴリン(カバサルール)	0.25mg	非採用
			1mg	婦人科使用
	ペルゴリド(麦角)	ペルマックス	250 μg	非採用
	プラミペキソール(非麦角)	ビ・シフロール錠	0.125mg	採用
			0.5mg	
		ミラベックスLA錠	0.375mg 1.5mg	試用
	ロピニロール徐放錠(非麦角)	レキップCR錠	2mg	採用
			8mg	院外採用
	ロピニロール吸収型製剤(非麦角)	ハルロピテープ	8/24mg	限定
			16/32/40mg	院外限定
	ロチゴチン(非麦角)	ニュープロパッチ	2.25/4.5/13.5mg	採用
			9mg/18mg	院外/非採用
アデノシン受容体拮抗薬	イストラデフィリン	ノウリアスト錠	20mg	院外採用
抗コリン薬	トリヘキシフェニジル	(先発パキソナール)	2mg	採用
	ピペリデン	アキネトン	1mg/5mg注射液	採用/限定
ドパミン遊離促進薬	アマンタジン	アマンタジン	50mg 錠/10% 細粒	採用
ノルアドレリン前駆物質	ドロキシドパ	ドロキシドパ	100mg カプセル	採用
レボドパ賦活薬	ゾニサミド	ゾニサミドTRE(先発トレリーフ)	25mg	採用
レストレスレッグス症候群薬	ガバベンチン エナカルビル	レグナイト錠	300mg	限定

L-ドパ換算用量	
変換倍率	レボドパ相当量
	50-100mg
× 1	1錠≒レボドパ100mg
× 1	1錠≒レボドパ100mg
LD × 0.33	1錠≒ レボドパ100mg + 33mg
× 1.11	1カセット≒ レボドパ2200mg
× 10	1錠≒レボドパ25mg
× 100	0.5mg≒ レボドパ50mg
	用量によらず一律 ≒レボドパ150mg
LD × 0.33	同時服用レボドパ製剤 × 0.33を増やす
LD × 0.5	レボドパ製剤 × 0.5を増やす
換算不要	
× 100	0.5mg≒レボドパ50mg
	1.5mg≒レボドパ37.5mg
× 20	2mg≒レボドパ40mg
× 5	8mg≒レボドパ40mg
× 13.3	4.5mg≒レボドパ60mg

【内服・外用から注射への切り替え】

- ・基本レボドパ製剤のみで換算する。
内服量の等量～半量を目安にする。回数は内服と同じにする。
- ・COMT阻害薬を併用していた場合は、レボドパ換算に加算する。
エンタカポンは作用時間が短いため、同時服用回のレボドパ製剤を1.33倍換算に
オンジェンティスは効果が1日継続するため、1日総量のレボドパ製剤を1.5倍換算とする。
- ・ドパミン受容体作動薬は貼付剤へ切り替える。静注に切り替えたい場合は、一定の用量以上(下の青四角)の場合のみ、レボドパ換算量に加算する。
- ・複数剤最大量使用している場合も加算を考慮する。

【注射の予備用量】

- ・生食100mlボトル→予備用量75mlまで
- ・生食250mlボトル→予備用量65mlまで

【MAO-B阻害薬】

- ・短期入院では一時休薬可。(レボドパ増量もしない。)
- リハビリ長期入院時や、off時間の増加、動作への影響が認められた場合は再開(持参薬を優先)を検討する。

【COMT阻害薬】

- ・オンジェンティスからエンタカポンに切り替える時は、レボドパ製剤と服用回数を合わせる。
- ・オンジェンティス25mg
→エンタカポン100mg × レボドパ服用回数

ドパミン受容体作動薬間の用量比		
縦の列が等量相当(／日)		
ビ・シフロール錠0.5mg	0.5mg	3mg
ミラベックスLA錠	0.375mg	2.25mg
レキップCR錠	2mg	12mg
ハルロピテープ	8mg	48mg
ニュープロパッチ	4.5mg	27mg



貼付剤は使用せず注射剤に切り替えたい場合、この用量以上の場合のみレボドパ換算量を加算する。

切り替え例
カルコーパ配合L100錠 3錠分3+ オンジェンティス錠25mg1錠
(レボドパ換算量:450mg)
→ドパストン注射液25mg 9A～18A(225mg～450mg)／日(3回に分割投与)

・パーキンソン病診療ガイドライン2018
・Levodopa Equivalent Dose of Safinamide: A Multisenter, Longitudinal, Case- Control Study.(PMID: 37070060)
・Jost ST, et al. Levodopa Dose Equivalency in Parkinson's Disease: Updated Systematic Review and Proposals. Mov Disord. 2023;38(7):1236-1252. (PMID: 37147135)

切替例

- ①カルコーパ配合L100錠 3錠分3+ オンジェンティス錠25mg1錠 (レボドパ換算量:450mg)
→ドパストン注射液25mg 9A～18A(225mg～450mg)／日(3回に分割投与)
- ②カルコーパ配合L100錠 5錠分5+ エンタカポン錠100mg 3錠分3 (レボドパ換算量:200mg+300×1.33mg=498.67mg≒500mg)
→ドパストン注射液25mg 10A～20A(250mg～500mg)／日(5回に分割投与)
- ③レキップCR錠 8mg分1
→ハルロピテープ32mg 1日1回
(→貼付不可の場合→レボドパ点滴での代替は不要)
- ④レキップCR錠 12mg分1
→ハルロピテープ48mg 1日1回
(→貼付不可の場合→レボドパ240mg相当として加算する;ドパストン注射液25mg 5A～9A(125mg～225mg)／日を加算する)